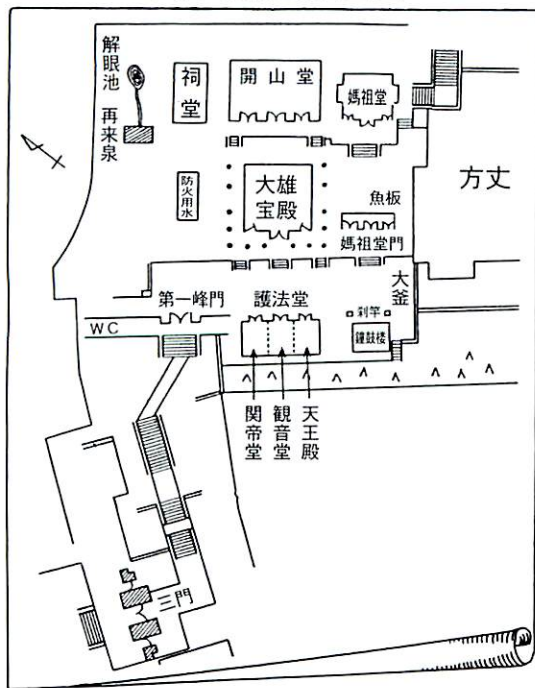


崇福寺諸堂配置図



長崎市鍛冶屋町7-5

崇福寺

電話 823-2645 番

崇福寺縁起



創建 寛永6年(1629年)長崎に在留していた福州人たちは、故郷の福州の僧超然を迎えて、寺を造りました。これが崇福寺の始まりです。

特徴(1)建築 明の末期～清の初期(17世紀)の南支建築様式をそのまま輸入したものでわが国では他に類例がありません。

特徴(2)聯額 享保年間(18世紀初)唐僧の渡来が絶えましたが、それまで渡来して来た唐僧には書画に秀れた人が多く、寺にかけられている扁額や柱聯は、これら唐僧の墨跡です。

三門〔重要文化財〕 俗に竜宮門といわれています。嘉永2年(1849年)棟梁大串五郎平が、中国人の指導を受けて造りました。

第一峰門〔国宝〕 唐門、赤門、海天門などともいいます。正保元年(1644年)創建。元禄9年(1696年)改築。寧波で切組み唐船で輸入して組立てた。軒下の複雑な斗拱と、即非禅師の扁額「第一峰」で有名です。

大雄宝殿〔国宝〕 崇福寺の本堂です。本尊は釈迦如来。脇侍は迦葉と阿難。正保3年(1646年)創建。十八羅漢は黄檗系彫像の代表作です。

護法堂〔重要文化財〕 向って左に韋駄天、右に閻帝(閻王)中央に観音を祀っています。享保16年(1731年)再建。精巧な柱礎があります。

鐘鼓楼〔重要文化財〕 享保13年(1728年)の再建。楼上に正保4年(1647年)開創時の檀越たちの名を連ねた梵鐘がかかっています。

媽祖堂門〔重要文化財〕 文政10年(1827年)再建。媽祖堂に対する門と仏殿と方丈を連絡する廊下を兼ねている。媽祖堂〔長崎県指定史跡〕 往時唐船主たちが海上安穩を祈願して海の神様媽祖(ぼさともいいます)を祀ったものです。現在でも旧暦3月23日華僑が盛大なお祭りをします。

大釜 天和年間の飢饉のとき、住持千駄(千杲とも書きます)禅師が、書籍什物を売って施粥をしました。そのとき鍛冶屋町の鋳物師に注文して造ったものです。4石2斗を炊くと伝えています。

涅槃図〔重要文化財〕 明・万暦38(1610)年 呉彬筆

旧暦	旧暦	新暦	旧暦	新暦	旧暦	旧暦	年
	七月二六日	五月二〇日	三月二三日	四月五日	一月二五日	一月二三日	中
二八日	二七日						行
普	閻	開	媽	清	元	閻	事
国	帝	山	祖	明	宵	帝	
盆	祭	忌	祭	節	節	祭	